



創価大学 法科大学院

SOKA LAW SCHOOL GUIDE

理 念

創価大学の創立者である池田大作先生は、価値を創造し、人類に還元していくことが創価大学の本来の使命であるとし、学生に「創造的人間たれ」と呼びかけられました。また、創価大学法科大学院の開設に際しては、法曹には「邪悪を正す冷徹な知性、人間を愛する温かな慈愛、勝利を決する強靱な魂」という三つの要素が求められることを示されました。

創立者の示されたこれらの指針に鑑み、創価大学法科大学院は、法曹として必要とされる専門的知識と能力を修得することはもとより、刻々と変化する現実に応じて、修得した専門的知識と能力を活かしながら、問題を解決するために自在に智慧を発揮しゆく「創造的な法曹」を養成し、人権、民衆の幸福、社会正義、平和という普遍の価値を実現していくことを理念としています。

教育目標

本法科大学院の理念を実現するために、「人間力、国際力、法律力」を備えた法曹を養成することを教育目標とし、法曹界に優秀な人材の輩出を目指します。

人間力・国際力・法律力のある法曹を養成

特色ある教育システム

特色1 理論と実務を架橋する授業

1. 実務家教員の充実

経験豊かな実務家教員による授業が多く置かれ、専任教員15名中7名が検察官、弁護士等の実務経験を持つ実務家教員です。

2. 要件事実教育の充実

要件事実の基礎を学ぶことによって、民事実体法の理解と共に、理論と実務の関わりについての理解が深まります。

3. 演習科目等における架橋

2年次以降の多くの授業で、研究者教員と実務家教員が協働しながら、多彩な判例・事例を題材として演習を実施します。

特色2 きめ細かな学修指導

1. 少人数制による演習中心の授業

10名前後の学生でクラス編成された授業が中心で、双方向、多方向の討論を通じて、専門的な法知識を修得しつつ、法的分析能力、法的議論能力、批判的検討能力、創造的思考力など、実務法曹として不可欠な能力を育成していきます。

2. 学修サポート体制の充実

ポータルサイトの活用やチューター（創大法曹会などの若手弁護士）による土曜補習などの学修支援、進路相談など、きめ細かな対応をしています。

特色3 徹底した法文書作成能力の養成

多くの演習科目でレポート課題や起案（自宅起案・即日起案）を実施しています。

教員・チューターによる手厚い学修支援体制

1 入学予定者事前研修を実施

入学前に事前研修会を未修・既修それぞれのコースに合わせて複数回実施しています。

2 毎週土曜日に少人数制による補習&ゼミを実施

毎週土曜日に7～8名程度の少人数で、チューターによる補習やゼミを実施しています。

3 入学期別の担当者制度の導入

チューターによる学修支援は、入学した期別に担当者を決め、法科大学院入学から司法試験合格までを一貫支援しています。



学修をサポートするチューター

充実した学修環境と教育設備

学修館



図書室 [1F]

24時間使用できる自習棟

図書館、自習室、ラウンジが完備された自習棟「学修館」は24時間使用できます。



ラウンジ [3F/4F]



自習室 [3F/4F]

模擬 法廷室



最新の設備を導入 した模擬法廷室

「刑事模擬裁判」等の授業では、学生が弁護士・検察官・裁判官となって、裁判手続を模擬体験しています。模擬法廷室には最新の設備が投入され、全席にモニターが設置されています。テレビドラマの撮影等でも使用されています。



学生寮

3つの学生寮

大学の敷地内に「桂冠寮」、周辺に「創英寮」「正義寮」があり、法科大学院生の生活をバックアップします。



桂冠寮 [大学敷地内]



創英寮 [大学周辺]



正義寮 [大学周辺]

奨学金

多彩な奨学金制度：学生の77%が給付奨学生 ※2022年度実績

日本学生支援機構の奨学金以外にも、独自の奨学金制度を設けています。返済の必要がない「給付奨学金」は全学生の77%が受給しました（2022年度実績）。

名 称	金 額	期 間	対 象	選考基準
① 創価大学法科大学院 牧口記念教育基金会奨学金Ⅰ種	100万（年額）	修業 年限	各学年最大9名	L日程「GLP一貫型特別入学試験」、A日程「社会人・非法学部・海外大学出身者特別入学試験」およびその他の入学試験の成績優秀者
② 創価大学法科大学院 牧口記念教育基金会奨学金Ⅱ種	50万（年額）	修業 年限	各学年最大5名	L日程「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」、A日程およびその他の入学試験の成績優秀者
③ 創価大学法科大学院 入学時奨励金	50万（年額）	入学時 のみ	入学者最大5名	L日程「GLP・法曹コース開放型特別入学試験」、A日程およびその他の入学試験の成績優秀者
④ 創価大学法科大学院 給付奨学金	30万（半期）	各学期 毎	各学年6名	入学後の各学期の成績優秀者（①、②の学生は除く）
⑤ 創価大学創友会 法科大学院スカラシップ	15万（半期）	各学期 毎	各学年5名	入学後の各学期の成績優秀者（①の学生は除く）



2022年司法試験合格者

2022年司法試験に **12** 名が合格 合格率では**私大3位** (※合格者数10名以上) に

2022年の司法試験では、創価大学法科大学院から12名が合格しました。
開設以来の司法試験の合格者は以下の通りです。

年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
最終合格者	8名	20名	13名	12名	18名	12名	12名	22名	18名	14名	13名	13名	13名	16名	16名	12名	12名	244名

法科大学院の概要・入試データ

【概要】 ●開設：2004年（平成16年）

●修業年限：3年（短縮2年）

●取得学位：法務博士（専門職）

※一定の要件を満たした3年次在学者および
修了者には司法試験の受験資格が与えられる。

●教員数：専任教員15名、兼任教員8名、
非常勤講師11名

●入学定員：28名

●収容定員：84名

●学費：入学金20万円、授業料96万円、
在籍料6万円、教育充実費20万円
※2024年度以降改定予定

【法科大学院入試データ（2023年度）】

	L日程①入試	L日程②入試	A日程入試			B日程入試			計
	GLP一貫型	法曹コース開放型	未修者	社会人・非法学部・ 海外大学	既修者	未修者	社会人・非法学部・ 海外大学	既修者	
志願者数	10	8	9	3	11	10	1	10	62
受験者数	10	8	9	3	11	10	1	9	61
合格者数	10	3	6	2	1	6	1	0	29
入学者数	9	3	1	2	1	4	1	0	21

【修了後の主な進路】

- 法曹（弁護士・検察官・裁判官）
- 裁判所事務官
- 国税専門官
- 地方公務員
- 大学教員
- 大学職員
- 国会議員
- 地方議会議員
- 民間企業法務部 他

お問い合わせ

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236 創価大学本部棟8階 法科大学院事務室
Tel：042-691-9476 Fax：042-691-8507 E-mail：hoka@soka.ac.jp

詳しくはホームページをご覧ください ▶ <https://www.soka.ac.jp/grad-law/>

